

## 新型コロナウイルス変異株について

変異株の検査について、これまでは市でPCR検査を実施したうち変異株疑い等の検体を、変異株であるかどうかを検査できる千葉県衛生研究所へ送り、衛生研究所で変異株陽性となった場合は、遺伝子型を特定するため、国立感染症研究所に遺伝子解析を依頼し、英国型などの遺伝子型を確定する体制を確保していました。

この度、4月12日より変異株PCR検査を開始しました。市の検査により、変異株陽性となった場合は、市から直接、国立感染症研究所へ検体を送り、遺伝子解析が行われます。

### 記

#### (1) 変異株とは

ウイルスが変異し、従来型よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性がある変異株や、またワクチンが効きにくい可能性がある変異株が報告されています。現在、英国、南アフリカ、ブラジル及びフィリピンにおいて確認された変異株が報告されています。

変異株であっても、個人の基本的な感染予防策は、3密(密集・密接・密閉)や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効とされています。

#### (2) 検査対象

市保健所で行った新型コロナウイルスPCR検査により陽性が判明した検体のうち、変異株流行国・地域に滞在歴があるなど疫学調査で疑われる検体又はCt値27以下の検体が対象です。(ただし、施設等のクラスター案件については、1事案につきCt値27以下を3検体程度)

また、医療機関が強く変異株を疑い保健所の医師が必要と認めた検体についても変異株PCR検査を行います。

#### (3) 検査見込み数

その日の対象検体数や、状況により医師の判断のもと検体を検査することになりますが、現時点では、1日最大で20件の検査を見込んでいます。

#### (4) 千葉県衛生研究所へ送付した検体数

4月12日から市が実施する以前に県衛生研究所に送付した検体数は、10件です。

#### (5) 市でPCR検査を実施するメリット

変異株の発生状況を早期に把握できることや検査結果がわかるまでの時間が短縮されることが挙げられます。千葉県衛生研究所に依頼して検査を行うと最大1週間かかるところが、市保健所で行った場合、翌日に結果が判明します。

早期に変異株であることが判明することにより、疫学調査の強化や接触者等の検査を迅速に実施することが出来、感染拡大防止対策に繋げることができます。

#### (6) 今後の検査

当面は、新型コロナウイルスのN501Yの変異を持つ型の検査を実施し、変異株か否かを検出するスクリーニング検査を行っていきませんが、現在開発中の試薬が完成され次第、E484Kの変異を検出する検査も合わせて実施する予定です。これにより、市保健所の検査で複数ある型のうち、E484Kの変異がない英国型の推定ができます。変異株陽性となった場合は、国立感染症研究所へ検体を送り、遺伝子型の確定を依頼します。

#### (7) 変異株患者数の公表

国のQAにおいて原則として都道府県単位で公表することとなっておりましたが、千葉県と調整が取れましたので、4月21日より本市において確認された変異株の検査数及び陽性者の人数を市で公表しております。

また、国立感染症研究所による遺伝子解析の結果、型が確定し、報告があり次第、公表いたします。

#### (8) 変異株患者への対応

4月8日に改正された厚生労働省通知によりますと、変異株の患者についての退院等については、従来株患者と同様です。変異株患者は個室でないといけないのかということについては、南アフリカ、ブラジル、及びフィリピンにおいて確認されている変異株の患者については、個室管理が可能な場合においては個室での対応が望ましいが、確保病床の病床使用率が20%以上の都道府県では、変異株の患者は従来株の患者又は当該患者とは別の変異株の患者と同室として差し支えない旨、示されています。

なお、英国において確認されている変異株の患者につきましては、病床使用率に関係なく、従来株の患者と同室としていただくことは可能と示されています。

(参考)直近の千葉県における病床使用率

3月24日時点	33.4%
3月31日時点	32.7%
4月7日時点	27.8%
4月15日時点	25.4%

# 資料集(厚生労働省資料より抜粋)

## 目次

- 1 新型コロナウイルス感染症(変異株)の評価・分析 …… 4
- 2 都道府県別の変異株(ゲノム解析)確認数 …… 5
- 3 性別・年代別の変異株(ゲノム解析)確認数 …… 6
- 4 変異株スクリーニング検査の実施状況 …… 7  
【4/5～4/11】速報値

## 1. N501Yの変異のある変異株

- 「N501Yの変異がある変異株」は、従来株よりも、**感染しやすい可能性**がある。
- 英国で確認された変異株(VOC-202012/01)、南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株(501Y.V3)、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。
- 英国や南アフリカで確認された変異株については、**重症化しやすい可能性**も指摘されている
- 4/19時点、国内事例1,477例、空港検疫200例の計1,677例が確認されている。

## 2. E484Kの変異がある変異株

- 「E484Kの変異がある変異株」は、従来株よりも、**免疫やワクチンの効果を低下させる可能性** (\*1) が指摘されている。
- 南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株(501Y.V3)、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。

\*1 この変異のみでワクチンが無効化されるものではなく、ファイザー社のワクチンの場合は、承認審査において、モデルウィルスを用いた非臨床試験を通じ、種々の変異株にも一定の有効性が期待できるが、今後も変異を注視し、引き続き検討が必要とされている。

※ 上記のほかに、我が国では、E484K単独の変異株 (R.1) が計3,092例 (国内3,087件、検疫5件) 確認。(2021/4/19時点)

# 都道府県別の変異株（ゲノム解析）確認数

4月19日時点【速報値】

括弧内は4/14公表との比較※2

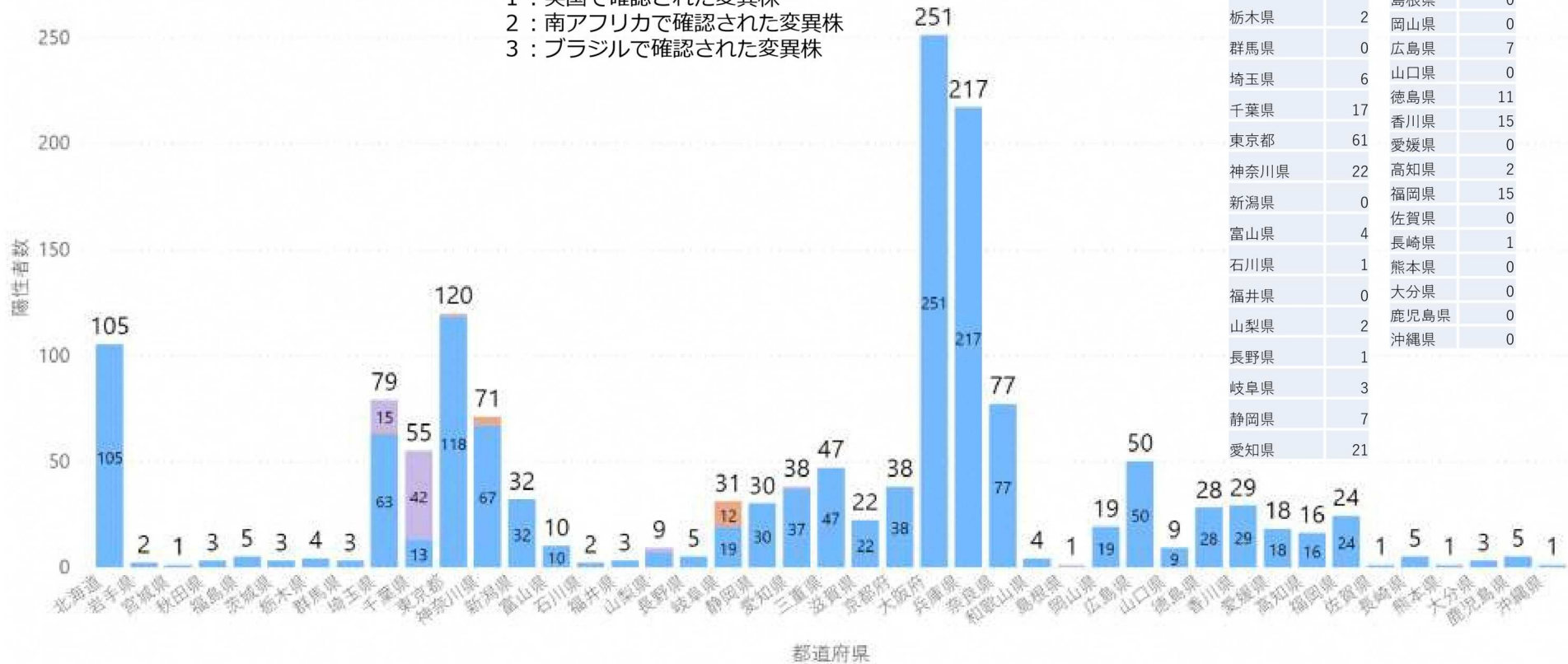
- 国内事例 1,477 例（+336）、検疫 200 例（+0）の合計 1,677 例（+336）を確認※1
- 国内事例のうち、英国 1,397 例（+321）南アフリカ 18 例（+3）ブラジル 62 例（+12）※2  
※43都道府県（新たに宮城県）で確認。

【4/14公表からの増加数】※2

北海道	42	三重県	16
岩手県	0	滋賀県	18
宮城県	1	京都府	-32
秋田県	0	大阪府	14
福島県	0	兵庫県	13
茨城県	0	奈良県	65
栃木県	2	和歌山県	1
群馬県	0	島根県	0
埼玉県	6	岡山県	0
千葉県	17	広島県	7
東京都	61	山口県	0
神奈川県	22	徳島県	11
新潟県	0	香川県	15
富山県	4	愛媛県	0
石川県	1	高知県	2
福井県	0	福岡県	15
山梨県	2	佐賀県	0
長野県	1	長崎県	1
岐阜県	3	熊本県	0
静岡県	7	大分県	0
愛知県	21	鹿児島県	0
		沖縄県	0

ゲノム解析結果（都道府県別） ●1 ●2 ●3

- 1：英国で確認された変異株
- 2：南アフリカで確認された変異株
- 3：ブラジルで確認された変異株



※1 国内事例は公表前日までに HER-SYS で把握した累計を計上。

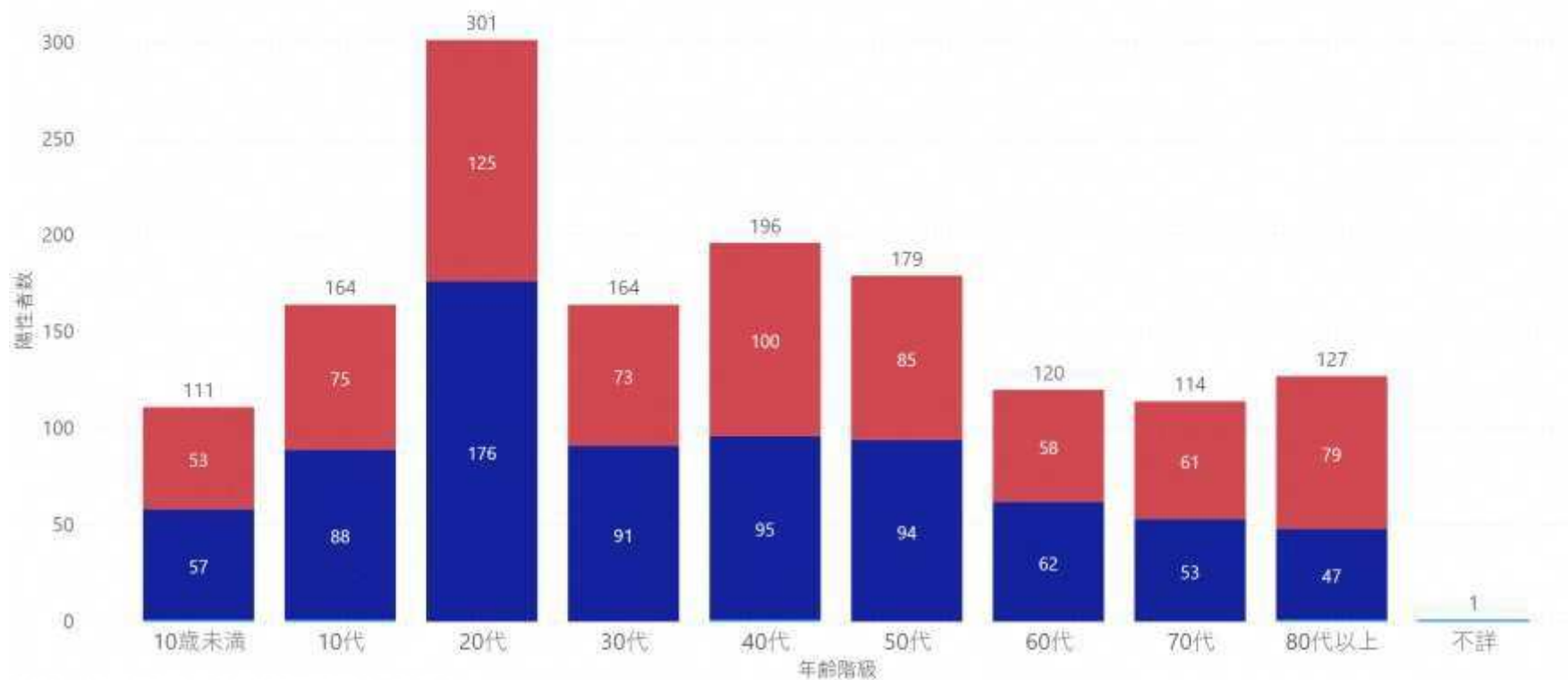
※2 4月14日公表後に HER-SYS 上で事例削除・変更等された事例があることから、4月14日時点と4月19日時点との事例数の差分については、負の数となっている場合がある。

# 性別・年代別の変異株（ゲノム解析）確認数

2021/4/19 時点

## 【変異株（ゲノム解析）確認数】

性別 ●0●1●2 0：未入力、1：男性、2：女性 n=1477



## 【変異株（ゲノム解析）の死亡者数】

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男	0	0	0	0	0	0	2	5	10	17
女	0	0	0	0	1	0	0	2	3	6
計	0	0	0	0	1	0	2	7	13	23

※自治体において HER-SYS に入力があったものを集計。変異株の種別が「その他」又は未入力ものを除く。

※死亡者数は、新型コロナウイルス感染症の死亡者数の内数

# 変異株スクリーニング検査の実施状況【4/5~4/11】速報値

2021/4/19時点

	都道府県	新規感染者数	変異株PCR検査 実施件数	変異株PCR検査 陽性件数
1	北海道	553	346	187
2	青森県	83	29	0
3	岩手県	48	12	0
4	宮城県	665	310	9
5	秋田県	30	31	8
6	山形県	164	50	0
7	福島県	202	7	0
8	茨城県	237	102	38
9	栃木県	171	76	12
10	群馬県	150	32	12
11	埼玉県	926	81	18
12	千葉県	614	157	38
13	東京都	3,276	204	84
14	神奈川県	941	103	23
15	新潟県	172	117	5
16	富山県	91	65	54
17	石川県	96	42	16
18	福井県	41	38	27
19	山梨県	39	10	1
20	長野県	266	90	16
21	岐阜県	127	55	34
22	静岡県	136	62	17
23	愛知県	987	195	112

	都道府県別	新規感染者数	変異株PCR検査 実施件数	変異株PCR検査 陽性件数
24	三重県	150	69	56
25	滋賀県	118	17	12
26	京都府	524	114	80
27	大阪府	5,404	703	569
28	兵庫県	1,896	489	397
29	奈良県	553	39	30
30	和歌山県	199	166	71
31	鳥取県	24	26	17
32	島根県	3	4	3
33	岡山県	188	102	79
34	広島県	76	45	15
35	山口県	23	18	9
36	徳島県	107	24	20
37	香川県	84	82	62
38	愛媛県	226	24	21
39	高知県	23	19	14
40	福岡県	280	144	77
41	佐賀県	46	41	7
42	長崎県	15	15	7
43	熊本県	17	17	7
44	大分県	22	13	10
45	宮崎県	42	26	6
46	鹿児島県	63	48	4
47	沖縄県	813	83	20
	<b>全国</b>	<b>20,911</b>	<b>4,542</b>	<b>2,304</b>
	<b>民間検査機関</b>		<b>3,039</b>	<b>1,185</b>

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 民間検査機関の件数は、国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの